

コーセーについて

コーセーグループは、基本理念に「英知と感性を融合し、独自の美しい価値と文化を創造する」を掲げ、化粧品を主体とする企業活動を展開しています。

新しい化粧品を生み出す 商品開発力が特長です

コーセーの特長は、創業以来64年にわたって、ほぼ化粧品のみを事業領域とした企業活動を続けてきたことにあります。企業規模が拡大し、グループ企業が増えた現在でもそのことは変わりありません。コーセーグループの企業理念体系の中に「ひとびとの期待に応え、期待を超える」という言葉が掲げられていますが、これは1946年の創業より一貫して企業方針の第一としてきた「お客さまに最高の品質をお届けしたい」ということを表すものです。そして、この理念を堅持し続けてこられたのは、化粧品だけを見つめ、その理想を追い求めてきたからであると考えています。

その現れのひとつが、業界内外から認められている研究開発力の高さです。現在多くの女性たちに広く愛用されているエッセンスと呼ばれる美容液は、1975年にコーセーが世界で初めて開発し、R・Cリキッドとして市場に送り出したものです。その後、1979年に発売したモイストチュアエッセンスとともに高い支持を得て、美容液というカテゴリーを創りだし

ました。またファンデーションの分野でも数々のタイプを開発し、定番アイテムとして育て上げてきました。パウダーファンデーション、2ウェイファンデーション、夏用のリキッドファンデーション、下地のいらぬクイックタイプのファンデーションなど全てコーセーが業界に先駆けて開発してきました。この他、美容効果を長時間維持することができるリポソームを応用した美容液、肌にのばすときに液体状に変化する粉の美容液など、コーセーが開発してきた化粧品は数多くあります。

このような新しい化粧品を生み出す力にあわせて、お客さまの手元に届

く全ての化粧品の品質を高めることへのこだわりも、コーセーの特長です。生産設備や体制の強化にいち早く取り組み、1970年代からQCといわれる品質管理活動を導入しています。1980年には化粧品業界で最初にデミング賞を受賞しましたし、品質保証に関する国際規格ISO9001の認証も全ての生産施設で取得しています。また、このようにして作った化粧品をお客さまに心を込めて手渡しするとともに、真にご満足いただくために、販売するチャネルの状況やお客さまのニーズにあわせて提供する化粧品を変えていくというコーセー独自のブランドマーケティングも展開しています。

会社概要

名 称	株式会社コーセー
本 社	〒103-8251 東京都中央区日本橋3-6-2
創 業	1946年3月2日
設 立	1948年6月8日
資 本 金	4,848百万円（'09年3月末）
代表取締役社長	小林 一俊
連結従業員数	5,370名（2009年3月期末 嘱託・パート社員を除く）

事業分野と主力ブランド

●化粧品事業

コーセーグループの事業領域は化粧品を中心としていますが、中でも高付加価値ブランドを中心とする分野を化粧品事業と位置付けています。全体に占めるウェイトは74.4%（'08年3月期売上）と3/4を上回っています。百貨店や化粧品専門店、大型量販店、ドラッグストアなどを主力に、様々な販売チャネルを通じてお届けしています。代表的なブランドとしては、コスメデコルテやアウエイク、ポーテドコーセーなど付加価値の高いハイプレステージブランド群と、エスプリークプレシヤスやプレディア、ヴィセ、雪肌精などカウンセリングによる販売ながらも、より多くの方に使っていただきたいプレステージブランド群があります。また、ライスパワーエキスNo.11を配合したモイストチュアスキンリペア、海外のファッションデザイナーとコラボレーションしたジルスチュアート、ドクターコスメのフィルナチュラント、サロン向け化粧品のクリエなども化粧品事業に含まれるブランドです。

●コスメタリー事業

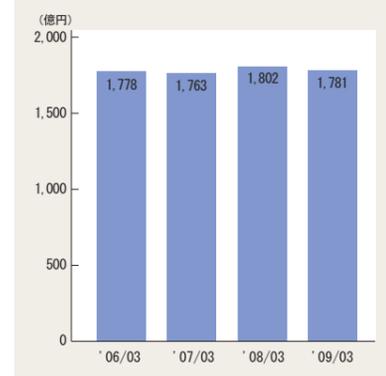
コーセーグループではセルフ販売を中心とする分野も、より価値観の高い化粧品発想の商品開発を行なっているため、この分野をコスメタリー事業と呼んでいます。全体の24.6%（'09年3月期売上）を占め、量販店やドラッグストアを中心に幅広い販売チャネルで展開しています。高級ヘアケアブラン

ドのスティープン・ノル コレクションをはじめ、コーセーコスメポートのサロンスタイルやソフティモ、マリ・クレール、コーセーコスメニエンスのハッピーバスデイ、ネイチャーアードコー、ファシオ、そしてロンドン発のリンメルなどが含まれます。

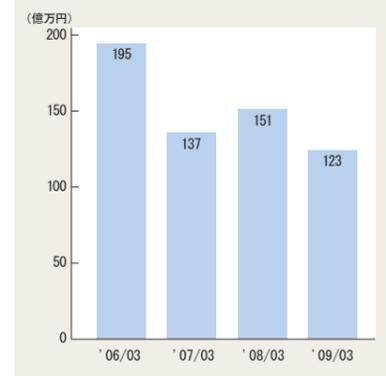
●その他の事業

この事業は相手先ブランドの化粧品を受注生産したり、全国のホテル等で使われるアメニティ化粧品や業務用化粧品の販売が中心の事業ですが、全体に占めるウェイトは1.0%とそれほど高くありません。

売上高推移（連結）



営業利益推移（連結）



株式会社コーセー 事業所

工場

[狭山工場]
埼玉県狭山市富士見2-20-1
[群馬工場]
群馬県伊勢崎市境伊与久1913

研究所

東京都北区栄町48-18
[コーセー研究所 技術情報センター]
東京都北区栄町46-3
[コーセー基礎研究所]
東京都板橋区小豆沢1-18-4

流通センター

[北海道流通センター]
北海道恵庭市戸磯347-13
[東北流通センター]
福島県須賀川市越久発米19-1
[狭山流通センター]
埼玉県狭山市富士見2-20-1
[名神流通センター]
滋賀県湖南市中央3-8-1
[中四国流通センター]
岡山県笠岡市みの越1番地
[九州流通センター]
福岡県古賀市糸ヶ浦30

研修センター

[王子研修センター]
東京都北区王子2-29-2

主な関係会社

コーセー化粧品販売（株）
コーセーコスメニエンス（株）
コーセーコスメポート（株）
（株）クリエ
（株）ドクターフィル コスメティクス
コーセーコスメピア（株）
（株）コスメラボ
（株）アドバンス
コーセー保険サービス（株）
インターコスメ（株）
（株）アルピオン
（株）テクノラボ
（株）コスメディック
高絲化粧品有限公司（中国）
高絲化粧品銷售（中国）有限公司
高絲香港有限公司
KOSÉ SINGAPORE PTE. LTD.
KOSÉ AMERICA INC.
KOSÉ KOREA CO., LTD.
台湾高絲股份有限公司
KOSÉ (THAILAND) CO., LTD
KOSÉ (MALAYSIA) SDN. BHD.